

JD Farag 牧師 中東アップデート 2018年7月1日公開

エルサレムが中心である

私は今日のアップデートの準備をしていて、自分自身に葛藤を感じました。たぶん皆さんも、私と同様 現在アメリカで起こっている事をご覧になっていると思いますが、大変許しがたくて、悲しく、気落ちし、幻滅してしまいますね。私はもっと時間をかけて、一步引いて見なければなりません。そして、ダビデのように、私も主において自分自身を励まそうとしたら、主は常にご誠実に私の心を落ち着かせてくださいました。イエスが言ったように、その平安というのは、この世から得られる物ではなく、使徒パウロが“ピリピ人への手紙”に書いているように、人間の理解をはるかに上回っています。そう、確かに、この世で、特にこのアメリカでは、許しがたく、落胆することが起こっています。“BUT GOD / がしかし、神は、”。

この世は、日毎に悪が増していっているように見えますが…“BUT GOD / がしかし、神は、アメリカで多くの人を救う為に、全てを益と変えてくださるでしょう。そして思い切って言わせてもらおうと、ここハワイは、今この世で起こっていることから離れて孤立していると思います。明けても暮れても死に直面している他の国々にいるキリストにおける兄弟姉妹を、私はいつも想っています。彼らはイエスキリストの信者であり、フォロワーであります。我々はこの国でそうであるのが当然のことだと思っていて、私がお教えするここハワイではもっとそうだとは思いますが、国境をこえると…すみませんこの言葉を使います…、他国で起こっている事を見ると、目を開かれるようです。全ての背後にサタンが居ますから。あらゆる悪魔的、サタンの出来事を、我々は目にしています。しかし、私たちの戦いは、人や互いに対するものではなく、保守党と共和党間の争いでもなく、クリスチャン対ムスリムでもなく、どれだけこれらをリストに出来るでしょうか。

“エペソ人への手紙6”をお教えするのが楽しみですが、そこに使徒パウロがキーワードとして言及しています。我々の戦いは、血肉のある人間に対してではないのです。サタンは、私たちが互いに憎み合い、貪り合い、破滅することを望んでいるのです。イエスは、敵、盗人は、盗み、殺し、破滅させに来るけれど、私はあなた達に“命”、より豊かな“命”を与えに来たのだ、とおっしゃいました。それは物理的な意味ではなく、“エペソ人への手紙”にあるように、“霊”で満たされる“命”なのです。ここに真実があります。これはスピリチュアルな領域で戦っている霊的な戦争なのです。またそれは人類の魂のためであり、終わりが近づくにつれ、今終わりが近づいていて、この霊的な戦争は激しくなっているのです。それが今起こっていることであって、ここアメリカでまったくもってその起こっている出来事を見ているのです。しかし、おそらくもっと重要なのは、イスラエルにおいても、なのです。

さて、こんな風に言う「闇と悲観」に聞こえるのも分かっていますし、私はそう呼ばれるのを光栄に思います。でもこの悲観と闇は、神の御言葉によれば、さらに悪くなっていくというのが事実であるから、私は言わざるを得ないのです。

「まあ先生！ 言いすぎですよ。」

「というより、物事は、実際には、かなり上手く行っているから大丈夫ですよ。」

でも、物事が再び素晴らしくなる、アメリカが再び偉大になる、そこにあなた方は望みを置くのですか？

「先生何を言っているのですか？」

はい、私の聖書が告げています。終わりの時に何が起こるのか、それが聖書預言であり、大変明確に明記してあります。誰もが「素晴らしい、平和だし安全だ」と話している時の、“突如の崩壊”に関して明確な預言があり、またそれは、具体的にはイスラエルにもたらされる、さらにはそれがエルサレムであると。

聖書の預言に対して皆さんの注意をひかせていただきます。みなさんの、ほとんどがご存知でしょうが、2500年以上前に書かれた事です。そして、わたし達はこの預言が確実に今起こり始めているのを目にしている、ゼカリヤ12章でそうなる、と言われた通りだと、私は主張します。1節から3節を読みたいと思います。

「託宣。イスラエルに対する主の言葉。」別の翻訳では、「イスラエルに関する預言。」

「天を広げ、地の基を置き、人の霊をその内に造られる主は言われる。見よ、わたしはエルサレムを周囲のすべての民を酔わせる杯とする。エルサレムと同様、ユダにも包囲の陣が敷かれる。」

「その日、わたしはエルサレムをあらゆる民にとって重い石とする。それを持ち上げようとする者は皆、深い傷を負う。地のあらゆる国々が集まり、エルサレムに立ち向かう。」

どうか聞いていてください。このように言うことをお許しいただきたいですが、聖書預言はアメリカが中心ではないのです。どなたもそれにアーメンと言わないですね。ではそれがどうかということとはさておき...同意しない方々がいるのも分かりますが、アメリカが聖書預言にはないのを、同意しないことで快く同意しましょう。皆さんが聖句本文にアメリカを入れようとどんなに頑張っても、地球上で最も強い国に何か起こるようアメリカ合衆国を参照しようと言っても、はっきり言うと、聖書預言のページからは、その大国は見当たらないのです。またところで、アメリカ合衆国は中心ではありません。エルサレムが中心であるのははっきりしています。

何年も前のことで忘れられないのが、ロシアにいたとき、モスクワの神学校で教えていた時、生徒たちが壁にある地図を私に見せて、「見てよ！違うよ！」と言いました。私が見ていた地図とは、世界地図だったのですが、「何か気づきませんか？」と彼らは言い、最終的に一人の生徒が教えてくれました。「その地図の中心に何かあるか見てください。」というよりも「地図の中心が何でないかを見て」と。私たちの地図の中心はロシア、モスクワではなくアメリカですが、その地図の中心はロシアだったのです。

神様も地図をもっておられるのです。彼の地図の中心が何か分かりますか？

「エルサレム」

ありがとうございます。

神がアメリカを愛していないと言う意味ではなく、神はアメリカを祝福していないという意味でも全くありません。そういうことではなく、私が言っているのは、中心がアメリカではないということです。アメリカで起こっていること、アメリカに対することというのは重要ですが、神があらゆる種族の中からイスラエルを選び、文字通り神がその御名を置かれたエルサレムという街を、もっと観察する必要があります。エルサレムを、エルサレムを見るのです。もう終わりの緊急の時であるのはお分かりでしょう。

エルサレムに関する重要な展開、先週エルサレムで行われた会談についてお話しします。

“エルサレムポスト”の、ヨルダンの王アブドゥラーとトランプ大統領とのホワイトハウスでの月曜日の会談に関する報道から始めたいと思います。会談で彼がアブドゥラーに強調したのが、

“エルサレム東部は、将来の独立パレスチナ国家の首都でなければならない。”

ヨルダンのアンマン市で、大統領最高側近のクシュナーとグリーンブラットをもてなし、来たる”中東和平案“について

話をした数日後に、大統領にこう話している。

アブドゥラーは、”2国間解決“という伝統的な枠組みは、ヨルダンにとって 「最優先事項として残っている」と言う。陛下が強調したのは、”2国間解決“というのは、エルサレム東部に首都としてパレスチナ国家の国土を得ることで、独立パレスチナ国家の設立を保証するものであり、それがパレスチナとイスラエルの紛争を終わらせる唯一の道であり、またそれがすべての地域の安全、確固たる安全を達成する礎であると話した。”

私の記憶によりますと、言うまでもありませんが、とにかくパレスチナ人というのは存在しません。私はパレスチナ人だと言われて信じて育ちました。でもイエス・キリストの救いの教えにたどり着いてから、パレスチナ人というものも存在しないと知りました。私はアラブ人ですが、そのようなものはありませんし、言わばパレスチナ国土というものもないのです。が、パレスチナ人の地と呼ばれたものはあって、そうご存知、西暦2世紀にエルサレムが征服されたとき、その街とユダヤ人の大敵の名をとって、パレスチナと名付けた。ペリシテ、ペリスチア、訳すとパレスチナ、ペリシテ人はパレスチナ人。パレスチナ人の国土などないのです。これが本当に私の気を狂わすのです。私はそんな話をしたくはなかったのですが、聖書教師の先生方、良い方々ですが、イスラエルの国土をパレスチナと言われるとき、気がおかしくなるのです。だから...あ～血圧があがるので、もう良いでしょう！

同日、“アラビア ”のサウジアラビアについての報道は、”2国間解決“に基づく平和への固執を主張し、同国もまた、—引用— ”アラブの和平優先“が包括的な戦略のオプションであり、パレスチナ問題解決と、アラブとイスラエルの対立、これが月曜日、国連安全保障理事会のセッション前、国連へのサウジアラビア代表による同国の演説となった。

Dr.ハリッドマンズラウィ —引用— パレスチナの人々は、長年不当な弾圧による占領と、人種差別、違法な和解戦略で苦しんでいる。加えてサウジアラビアが、パレスチナ問題に連帯していると言及した。

どうか分かってください。再度言わなくてもよいでしょうけど言いますが、この“2国間解決”は、ヒトラーのユダヤ人問題の最終目的、ユダヤ人排除/根絶/終結に再編されているものなのです。これがまさに自称パレスチナ人が望むこと、イスラエルとの平和など望んでおらず、彼らはイスラエルの崩壊を望んでいるのです。それが“2国間解決”です。

では水曜日にこのことについて聞かれたでしょうか？興味深いのですが、これが、地域への歴史的訪問と云われていることを知っていたウイリアム王子が、” The Times of Israel ”によると、ウイリアム王子は、エルサレムでバルカット市長と会うのを拒んだと言われており、明らかにエルサレムでの市長との会合は、イスラエルの道徳上の英国への認識では受け入れられることではなかっただろう。バルカットは提案を拒否、エルサレムで会えない場合は、むしろ会わなくても良いと伝達した。良かった！

バルカットの側近は、—引用— 前代未聞の皇室のイスラエル訪問は重要であり、ふさわしいが、イスラエルが唯一の首都、エルサレムの権利を持っており、エルサレムへの敬意から別の場所で王子に会うことを拒否したのである。英国外務省は声明で、直接王子の言葉についてはコメントしませんでした。皆さん彼が何と言ったか聞かれましたか？では私が引用します。マハムードアバスに対してのウイリアム王子の声明は、
「我々英国とパレスチナの2国が、手を取り一緒に歩めることを嬉しく思います。」しかし英国政府が言ったのが、自治国の創設と、聞いてください、イスラエルと隣接しながら平和と安全の中で存在できるパレスチナ自治区を支持します。」

まだありますので注意して聞いてください。「平和をもたらすための最適なタイミングを見計らって、英国はパレスチナ国家を認めるだろう。」

私たちが聖餐式を一緒にする前に、この残りの時間、これについて話したいと思います。平和と安全の中で生きること、平和をもたらすために最適なタイミングで、英国はパレスチナ国家を認める、これが英国政府の直近の声明なのです。ええ私は今がその時だと言います。なぜなら疑いなしに皆さんはそれを聞いている、イスラエルが神の預言時計であるとスクリーンに出っていますが、それがわかるはずです。

さて先に進みますが、その時計は、イスラエルが長針で、エルサレムが秒針です。再度言います、エルサレムがすべての中心であり、唯一の震源地なのです。神の預言時計では今何時か知りたいでしょう。神の地図で私たちがどこにいるか知りたいでしょう。エルサレムを見るのです。全てが“突如”、“今”、“ゼカリヤが2500年以上前に預言した通りに起こっているのです。

もしそれが今なら、私は今だと信じますが、含みの重要性を誇張するのは実質無理だと思いますが、言い替えると、もしそれが今であるなら、神のことに真剣になる時が今、なのです。

もう数分いただいて、ローマ書13章の11節から14節を読みます。使徒パウロがローマの教会に手紙を書いてこう言っています。

「あなたがたは、今がどんなときであるかを知っています。あなたがたが眠りから覚めるべき時が既に来ています。今や(キーワード)、私たちが信仰に入ったころよりも、救いは近づいているからです。夜は更け、日は近づいた。だから、闇の行いを脱ぎ捨てて光の武具を身につけましょう。日中を歩むように、品位をもって歩もうではありませんか。酒宴と酩酊、淫乱と好色、争いと妬みを捨て、主イエス・キリストを身にまといなさい。欲望を満足させようとして、肉に心を用いてはなりません。」

思い出してください。恐縮ながら思い出していただきたいのは、これがクリスチャンに対してなんです。言い換えれば、彼はこれをクリスチャンに書いているのです。彼らが眠ったままなので、目を覚ましてイエス・キリストを身にまとう時間だと言っているのです。クリスチャンとしての人生に関係のないこと脱ぎ捨てる。私たちの救いは近づいているのです。今がその時なのです。今いつなのか見ましたね？

今朝、私の目覚ましは鳴りました。普段は鳴る前に起きるのですが、今朝は違って、枕がくっついてくるような深いレム睡眠。例えると、マッシュマロを食べている、で、枕を噛みながら目が覚めるような深い眠りで、アラームが鳴り、私は叩き起こされる。そういうふうにはアラームが私を起こすのです。私は時間に起きる。ええ本当は、スヌーズを押したかったのですが、「ああ～～教会に今日は行きたくない。でも私は牧師だから行かなければならない。教会に行かなければならない～。スヌーズボタンを押すこともできるけど～、良いのです。神様は許してください。」

自分が誰かを知っていて、神は、赦してください神様ですが、これには手に負えないこともあって。

さてもう一度、これは信者には目覚ましで、また信者でない人にとっては、別の目覚ましなのです。アラームが鳴っているから目覚ましであり、イエスが来られるのです。またこれが福音であり、使徒パウロがローマ人に、コリント人に、テサロニケ人にも書いている、“イエスが十字架にかけられ、葬られ、そして死から3日後に甦ったこと”、これが福音の

定義です。これが福音で、良い知らせ。“イエスが亡くなり、埋葬され、甦った、そして彼は戻ってきます。これが良い知らせですね？それが福音であり、毎週私たちの預言アップデートの最後に福音を述べている理由です。

これをしているのは、まだ主の名を呼び求めている方々が救われる機会をもってもらうため、”救いのABC“を使っています。もう2分いただきたいのですが、皆さんに、日本から アンジェラふゆゆさんのツイートを紹介したいと思います。彼女はツイッターに投稿し、ツイッターで私をタグしています。ここで紹介するのは、皆さんを励ましたいからです。世界中の、地球上の果てで、人々が救われているのを知らせたいのです。彼女のツイートをお見せします。日本から、彼女の投稿は、日本語訳がついた救いのABCの画像です。事実日本には、預言アップデートを日本語に翻訳しているミニストリーがあります。私たちにはオンラインで、キリストにおける兄弟姉妹が日本にたくさんいるのです。画面に投稿をお見せして、彼女のツイートをシェアします。彼女は、「私は、救いのABCのシンプルな教えを通して、救われたのです。私の先生...JD...」

おー！私は彼女の先生なんだ！日本で！日本ですよ。そんなところで。なんと！

救いのABCをシェアします。Aは、自分が罪人であると自分の罪を認めて/Admit、救い主が必要だと認識する/Acknowledge ことです。ローマ書3章10節に、「義人はいない。一人もいない。」とあります。私たちは実際木曜日の夜、パウロがここでローマ人に引用している「詩篇」について話しました。ローマ書3章23節は、「人は皆、罪を犯して神の栄光を受けられなくなっている。」とあり、またローマ書6章23節には、「罪が支払う報酬は死である。」とあります、しかしここに良い知らせがあるのです。「神の賜物は、彼が全部払ってくれたので、神からの賜物は、わたしたちの主イエス・キリストにある永遠の命なのです。」とあります。

Bは、あなたの心で、イエスキリストが主であり、神は彼を死から甦らせたと信じる/Believe こと。ローマ書10章9-10節には、「心で神がイエスを死から甦らせたと信じるなら、あなたは救われるのです。」とあります。

そして最後にCは、主の名を呼び求める/Call です。イエスが主であると、口で告白する/Confess でも良いです。ローマ書10章9節と10節にも、「口でイエスは主であると公に言い表し、心で神がイエスを死者の中から復活させられたと信じるなら、あなたは救われるからです。」あなたの信じるその心と、あなたの告白するその口で救われるのです。ローマ書10章13節が最後です。「主の名を呼び求める者は誰でも救われる。」とあります。

私は毎週これを言いますし、また今週も言います。イエスが来られます。もしあなたが神の霊によって生まれ変わっていないなら、取り残されてしまいます。7年の患難の間に行くのです。たぶん皆さんは、自分がその7年の患難中にイエスに人生を捧げる、と言う話を聞かれたと思います。OK。でも、そんなあなたに聞きたい。何がそれを確実にするのですか？7年の患難前にイエスの為に生きられなかったならば、7年の患難中にイエスの為に死ぬ気であるなら。可能でしょう。そう可能です、がしかし、なぜそうするのですか？なぜ永遠の命のために、あなたの人生にとって一番大事な決断を先延ばしにするのですか？

ご起立ください。祈りましょう。残れる方には、ぜひお残りください。主のテーブルを共にする今日、特にそれをしてもらいたいと思います。もう帰らなければいけないなら、それは理解しますが。私たちは“エペソ人への手紙”の学びで話しましたが、聖霊での洗礼をお願いするのです。主の名を一度も呼び求めたことがない方のためにも、一緒に時間を持っていたきたいと思います。今日、あなたの人生でされることのない最も重要な決断をされること、またこのオンライン動画をご覧になっている方、このアラブ人がここで前列に唾を飛ばしながら、無料で水の洗礼をしている、そうではないですが(笑)、を見終えるのが偶然だと思うでしょう。あなたがこの動画を見ているのは理由があるのです。あなたは、ところで、今まだ見ている。今日は、救いの日なのです。主の名を、見つかるまで呼び求めるのです。神の霊は永

遠に競い合うことはありません。ラッパの音がなると、手遅れになる日が来ます。私は心から、それは誰もが想像しているより、ずっと近いと信じています。

祈りましょう。天の御父様、ありがとうございます。主よ、良い知らせをありがとうございます。イエス様十字架で私たちの罪の全てを払ってくださり、死を打ち破り、死から甦ってくださり、ありがとうございます。主よ、仰られた通り、あなたがまもなく来てくださること、ありがとうございます。主よ、今日ここで、あなたの名を呼び求めたことのない全ての人のために祈ります。私たちが共に聖餐式で共に過ごす前に、彼らが特にそうすることを祈ります。イエス様の名の下に。アーメン。

【聖餐式】

ルカによる福音書の22章に、主の晩餐、最後の晩餐について書き記されています。14節にルカが聖霊によって書いているのが、

「時刻になったので、イエスは食事の席に着かれたが、12人の使徒たちも一緒だった。彼は、イエスは、使徒達に、「苦しみを受ける前に(十字架にかけられる前という意味です。)あなたがたと共にこの過ぎ越しの食事をしたいと、切に願っていた。」

また、「言うておくが、神の国で過ぎ越しが成し遂げられるまで、わたしは決してこの過ぎ越しの食事をとることはない。」そして、イエスは杯を取り上げ、感謝の祈りを唱えてから言われた。「これを取り、互いに回して飲みなさい。言うておくが、神の国が来るまで、わたしは今後ぶどうの実から作ったものを飲むことは決してあるまい。」それから、イエスはパンを取り、感謝の祈りを唱えて、それを裂き、使徒達に与えて言われた。「これは、あなたがたのために与えられるわたしの体である。わたしの記念としてこのように行いなさい。」

わたしはいつも聖餐式の日曜日を楽しみにしているのですが、まず一つは、私たちのたくさんのオンラインのメンバー方は、教会がないので、実際彼らは一緒にこれを youtube のオンライン動画でします。ですから私たちは皆さんに、実に私たちが感謝すべきだと知ってもらいたいのです。皆さんを歓迎し、共に頂けることに感謝をします。

聖餐式で何が一番大切かと言いますと、”記憶/覚えておく”ことです。それは、イエスが私たちのためにしてくださったこと、私たちが犯すすべての罪の代価を払うために死んで下さったことへの記念と祝賀なのです。またところで、それはまだ犯していない罪の代価をもです。御座に向き合う素晴らしい最後の日までです。それは審判の席ではなく、報酬の席です。例えば、オリンピック審判席の審判のように、レースを終え、冠とメダルをもらうのです。楽しみですが、キリストの御座で何が起こるのでしょうか。私たちがイエス・キリストという人に何をしたかによります。イエスが誰であるか。地球上を歩いた最大の嘘つきだという話はでたらめです。神はその考えが冒涜だと禁じています。イエスは、道であり、真実であり、命である。彼を通してでないと、誰も天の父のところへは行けないのです。それを今日ここで祝うのです。私たちが赦しを受けています。先ほどの歌の通り、私たちは洗われる、罪を洗われ、清められるのです。正義をもって、イザヤが言っている通り、私たちの汚れた正義などではなく、イエスにある正義を正しいとするのです。わたしは justified/正しいとする という言葉が好きです。基本的な意味は、文字通りの意味で、意味通りの文字である言葉の一つです。説明させてください。私は今まで罪など犯したことなどない！何ですって？そうじゃなくって、キリスト

にある正義が私を正すのです。わたしは正しいとされました。そして、イエスがしてくださったことから、私は罪を犯したことなどない、となったのです。イエスが罪を払ってくれたから。イエスが罪から私たちを洗ってくれたから。イエスが罪から清めてくれたから。たとえ私たちの罪が緋色のように赤くとも、イエスがそれを雪のように白くしてくれたから。そしてイエスは、東と西が遠く離れているように、罪から私たちを引き離してくれたのです。そしてイエスは、その罪をもう思い出さない。

皆さんは、私がなぜ叫んでいるのかと仰るでしょう。ええ、ここにどなたかがおられる、たぶんお一人以上、罪と罪の意識と一緒に持ってこられている。サタンがあなたを潰すのに利用している。何を言っているかお分かりですね。だから聖餐式が好きで話をしているのです。イエスがしてくださったことを思い返すことが、本当に必要であるから。怪しくしたいのではないのですが、これがわたしのすることであり、「ワオ先生がおかしくなってる。」など、私を違うように思わないで欲しいのですが、おかしくなってるかもしれません。が、私は声に出していいいます。サタンはわたしの心を読むことはできないから。私は声に出してサタンと彼の悪霊に言います。私はお前に立ち向かう。私はお前に敵対する。お前たちは出て行きなさい。そこから出なさい。そうすれば私には罪の意識や咎められることなどもうない。私は解放された、神の一人子が完全なる解放をしてくれたのだ。お前は出て行け。私は言う、賛美する、褒め称える、声に出す、イエスの名の下に。サタンはその名前を憎んでいるのです。人間の中で唯一、私たちを救える名前だからです。ところで、イエスの名前を言うと、皆さんが誰かとしている全ての会話の様相が変わるのです。そう！イエスの名を会話に入れると全てが変わるのですよ。

皆さんに宣言し、公言し、お伝えしたのは、人間のなかで唯一、私たちが救われるために与えられた名前。イエスの名前。私はイエスを褒めたたえます、イエスに感謝をします、イエスを愛し、イエスを賛美します。全てがあなたの名前からの栄光であり、それが全てを変えるのです。

私たちがそうすると、サタンは手出しできなくなる。私たちは悪に対抗するように言われ、奴らは逃げるのです。イエスの名を褒めたたえはじめることが一番なのです。イエスの血潮の力を。

さあ一緒にパンをいただきます。主よ、ありがとうございます。私たちにこれを与え、主を覚えておくことをさせてください。私たちは忘れやすいので、思い起こさせてくださることが必要なのです。主よ、ありがとうございます。私たちを赦してください、私たちのために十字架で、私たちのすべての罪を支払ってくださったから、私たちが救われたのです。イエス様、ありがとうございます。イエス様、ありがとうございます。イエス様、ありがとうございます。イエス様、ありがとうございます。

ルカによる福音書に書いてあるのが、イエスは、食事を終えてから、「この杯は、あなたがたのために流される、わたしの血による新しい契約である。」

私はこれについて先週考えていたのですが、いつも聖餐式を楽しみにしているのです。これが私たちの通例なのですが、聖書には、毎月第一日曜日に聖餐式をしなければならぬとは書いていません。ただ私を覚えてこれをしなさいと書いています。教会によっては、聖餐式を毎日、頻りにされているところもあります。皆さんは、毎月第一日曜日まで待つ必要はありません。ご家族で、ご自宅で聖餐式をされることができます。大変パワフルで、でもカップを持つときはいつだってできます。

考えてみると、えーここでネガティブな参照をお許し下さい、でも私は考えるのです。サタンがどんなに上手くやっているか、クリスチャンにイエス・キリストの血潮の力を欠き、忘れさせるかを。事実今の時期、イエスの血潮の歌を歌う教

会において、逼迫しています。言いたくないのですがお許し下さい。粗探しではないのですが、冗談でしょ？最もパワフルなのが、クリスチャンとしてイエスの血潮ですよ。それを賛美したくない、話さない、覚えておきたくないとは。そうじゃない。そうじゃないのです。血潮のカップを共にいただくのは、イエス・キリストの血潮の力をシンボルとして理解するために、そうしましょう。私を罪から洗うために、清めるために、それがどれほどパワフルであるか。さあ一緒にいただきましょう。そしてご起立ください。

主よ、私たちにルカの福音書をここで再度思い起こさせてください。2度も書き記されているようにどれほど切にその時を待っておられたか。今ここで私たちがした通りのことを。主よ、それが神の国において最後の預言成就であります。私たちも本当にその日が来るのを本当に待ち望みます。ですからそれまで、主よ、私たちは、主を覚えておくためにこれをするのです。私たちは主を褒めたたえます。すべての栄光を。ありがとうございます、イエス様 イエス様 イエス様。その名には何かがあるのです。イエス様ありがとうございます。イエスの名の下に。アーメン。アーメン。

神の祝福が皆さんにありますように。忍耐いただき、本当にありがとうございます。時計を見ないでくださいよ。出られてから見られますから(笑)。神の祝福がありますように。素晴らしい週を過ごしてください。火曜日の夜、祈禱会でお目にかかりたいと思います。では火曜日の夜に。神の祝福を。



このメッセージはカルバリーチャペル カネオへの JD ファラグ牧師が公開したメッセージを、アメリカ在住の日本人クリスチャン木下言波が翻訳して YOUTUBE やブログに上げたものを文字化したものです。リアルタイムで知りたい方は、Calvary Chapel Kaneohe (英語)、「DIVINE US」(日本語)を検索してください。世界的なインターネット規制が始まろうとしています。私達はその日のために、文字にして紙に記録する必要を感じました。また、インターネットに不慣れな方や字幕を追って読むのが困難な方のためにも必要があると主に迫られたと感じます。

インターネットのメッセージを、文章化するこの働きを始めた姉妹が、目の治療をされました。どうかりよくさんの病後の弱さを覚えて、お祈りください。

「きょう、もし御声を聞くならば、あなたがたの心をかたくなにはならない。」

へブル 4:7

メッセージ by JD Farag 牧師 カルバリーチャペルカネオへ <http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe

47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

訳 by Fuyuko Chishima DivineUS : <https://www.youtube.com/user/TheDivineUs>